



## ユーザ デバイス プロファイルの削除

この章では、ユーザデバイスプロファイル（UDP）のグループを Cisco Unified Communications Manager データベースから削除する方法について説明します。クエリ検索またはカスタムファイルのいずれかを使用して、削除する既存の電話機レコードを検索できます。

- [クエリを使用した UDP の削除（1 ページ）](#)
- [カスタムファイルを使用した UDP の削除（3 ページ）](#)
- [UDP の削除関連のトピック（4 ページ）](#)

### クエリを使用した UDP の削除

Cisco Unified Communications Manager データベースから削除する対象となる UDP レコードを特定するために、クエリ フィルタを定義できます。

#### 手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザデバイスプロファイル (User Device Profiles)] > [UDPの削除 (Delete UDP)] > [クエリ (Query)] の順に選択します。  
[削除するデバイスプロファイルの検索/一覧表示 (Find and List Device Profiles To Delete)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [検索 (Find)] ドロップダウン リスト ボックスから、次のオプションのいずれかを選択します。
- ユーザ (users)
  - [自動生成 (Autogenerated)]
  - すべて (All)
- ステップ 3** 最初の [デバイス プロファイル (Device Profiles where)] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。
- プロファイル名 (Profile Name)
  - 説明
  - デバイスタイプ (Device Type)

- ステップ 4** 2 番目の [デバイスプロファイル (Device Profiles where) ] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。
- ~で始まる
  - ~を含む
  - 次の文字列と完全に一致する
  - 次の文字列で終わる
  - 空である
  - ~が空ではない
- ステップ 5** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。
- ヒント** データベースに登録されているすべての UDP を検索するには、検索テキストを何も入力せずに、[検索 (Find) ] をクリックします。
- ステップ 6** さらにクエリを定義して複数のフィルタを追加するには、[絞り込み (Search Within Results) ] チェックボックスをオンにして、ドロップダウンボックスから [AND] または [OR] を選択し、[ステップ 2 \(1 ページ\)](#) と [ステップ 5 \(2 ページ\)](#) を繰り返します。
- ステップ 7** [検索 (Find) ] をクリックします。
- 検出されたテンプレートのリストが次の分類で表示されます。
- デバイス プロファイル名
  - 説明
  - デバイスタイプ (Device Type)
  - [プロファイルタイプ (Profile Type) ]
- ステップ 8** [ジョブ情報 (Job Information) ] 領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 9** 削除方法を選択します。次のいずれかを実行します。
- a) すぐに UDP レコードを削除するには、[今すぐ実行 (Run Immediately) ] をクリックします。
  - b) 後で UDP レコードを削除するには、[後で実行 (Run Later) ] をクリックします。
- ステップ 10** 電話機レコードを削除するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit) ] をクリックします。
- [一括管理 (Bulk Administration) ] メインメニューの [ジョブ スケジューラ (Job Scheduler) ] オプションを使用して、このジョブをスケジュールまたはアクティブ化します。
- 注意** クエリ テキスト ボックスに何も情報を入力しない場合、システムはすべての UDP レコードを削除します。削除アクションは不可逆なため、削除されたレコードを復元することはできません。

---

## 関連トピック

[BAT ログ ファイル](#)

[スケジュールしたジョブの管理](#)

[UDP の削除関連のトピック](#) (4 ページ)

## カスタム ファイルを使用した UDP の削除

テキストエディタを使用して、削除する UDP のカスタム ファイルを作成できます。同じカスタム ファイル内にデバイス プロファイル名、デバイス プロファイルの説明、および電話番号を含めることができますが、その同じファイルに電話番号を含めることはできません。別々のファイル (デバイス名と MAC アドレスを含む 1 つのファイル、および電話番号を含むもう 1 つのファイル) を作成する必要があります。



(注) カスタム ファイルを使用して、共有回線を使用する UDP を削除することはできません。



(注) bat.xlt で作成された挿入トランザクションまたはエクスポートトランザクションのファイルを削除トランザクションに使用しないでください。代わりに、削除する必要のある UDP レコードの詳細を含むカスタムファイルを作成する必要があります。削除トランザクションにはこのファイルだけを使用してください。

### 始める前に

1. 削除する UDP に関する次のいずれかの詳細情報を列挙したテキスト ファイルを作成します。
  - プロファイル名
  - プロファイルの説明



(注) カスタムファイルでは見出しが不要で、名前、説明、または電話番号の値を入力できます。各アイテムをテキストファイル内の別々の行に配置します。

2. の最初のノードサーバーに、CSV ファイルをアップロードします。

### 手順

**ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザデバイス プロファイル (User Device Profiles)] > [ユーザデバイスプロファイルの削除 (Delete User Device Profiles)] > [カスタムファイル (Custom File)] の順に選択します。  
[ユーザデバイスプロファイルの削除 (カスタム) (Delete User Device Profiles Custom Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [削除 (Delete) ] をクリックします。

**ステップ 3** [デバイス プロファイル (Device Profiles where) ] ドロップダウン リスト ボックスで、次の条件のいずれかから作成済みのカスタム ファイルのタイプを選択します。

- プロファイル名 (Profile Name)
- プロファイルの説明 (Profile Description)
- [電話番号 (Directory Number) ]

**ステップ 4** カスタム ファイルのリストで、この削除用のカスタム ファイルのファイル名を選択して、[検索 (Find) ] をクリックします。  
検索条件と一致する UDP のリストが表示されます。

**ステップ 5** UDP を削除するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit) ] をクリックします。

[一括管理 (Bulk Administration) ] メイン メニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler) ] オプションを使用して、このジョブをスケジュール追加またはアクティブ化します。

---

#### 関連トピック

- [BAT ログ ファイル](#)
- [スケジュールしたジョブの管理](#)
- [UDP の削除関連のトピック \(4 ページ\)](#)
- [サーバへのファイルのアップロード](#)

## UDP の削除関連のトピック

- [クエリを使用した UDP の削除 \(1 ページ\)](#)
- [カスタム ファイルを使用した UDP の削除 \(3 ページ\)](#)
- [サーバへのファイルのアップロード](#)
- [スケジュールしたジョブの管理](#)
- [TAPS の概要](#)
- [BAT ログ ファイル](#)

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。